

15独評第50号  
平成15年8月29日

独立行政法人農業環境技術研究所  
理事長 陽 捷行 殿

独立行政法人評価委員会  
委員長 松本 聡 印

独立行政法人農業環境技術研究所の平成14事業年度における業務  
実績の評価結果について

このことについて、独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第3  
2条第3項の規定に基づき、別紙のとおり業務実績の評価結果を通知する。

## 独立行政法人農業環境技術研究所の平成14年度に係る業務の実績に関する評価結果

### 農林水産省独立行政法人評価委員会農業技術分科会

#### 1 総合評価

##### (1) 評価ランク A

##### (2) 評価に至った理由

「業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、法人の主要な業務である研究開発を含む「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画」、及び「その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項」について、中期計画の達成に向けて業務は順調に進捗していると判断し、Aと評価した。

##### (3) 総合所見

独立行政法人農業環境技術研究所は、農業と環境に関する問題解決のため、地球環境、化学環境、生物環境の観点から基礎的研究を業務運営についての効率化を進めながら行うことが求められている。このような観点から、平成14年度の業務の実績について調査・分析し、評価した結果は以下のとおりである。

主要な業務である研究開発については中期計画の達成に向けて順調に進捗している。農作物のカドミウム汚染リスクに関する研究、環境関係の他機関とのネットワーク構築とその運営戦略、環境研究の国際的な貢献は高く評価される。食料と環境の安全性の評価と確保をキーワードに、今後も研究成果をあげることを期待する。なお、農業環境研究における基礎的・基盤的研究については、より一層解決すべき課題を明確にし研究を推進する必要がある。

研究成果については、行政及び国民のニーズにどう役立ったかという視点から、評価、提供するとともにその貢献度を対外的により強くアピールしてゆく必要がある。

管理・運営については、中期計画の達成に向けて全体として順調に進捗している。

管理事務業務の効率化、管理経費節減については、引き続きより一層の取り組みを図り、その効果が研究開発業務の質の向上に寄与するよう努めるとともに、業務が効率的に運営されている実態がより分かり易く表現されるよう、運営費交付金、受託費の研究財源及び研究項目ごとに、予算・決算（人材等研究資源の投入の計画と実績を含む。）などを表す内部計数の管理並びにその状況について一層明確に把握することが期待される。

#### 2 各大項目ごとの評価

業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価ランク A

評価に至った理由及び所見

計画に対して業務が順調に進捗している。研究員の配置についても、多面的な視点が必要とされるテーマについては、研究チームを設置し、組換え体、ダイオキシン等国民の関心が高い問題などニーズに応えている。地球環境変動等の長期の研究

期間を要する研究は、長期的な視点に立ち着実に成果をあげることができる研究推進体制の構築が必要である。

項目ごとの所見は以下のとおりである。

『 1 評価・点検の実施』

計画に対して業務が概ね順調に進捗している。なお、法人による研究及び管理運営に関する自己点検評価の結果を研究資源の配分に反映させるとともに、研究職員の業績評価の結果は、昇給・昇格の参考としているが、研究資源の配分に反映するシステムを早急に明確にし取組みを行う必要がある。

『 2 研究資源の効率的利用』

「公募型プロジェクト審査委員会」の設置、研究チームの設置および各機器が効率的に利用できるようなシステムの策定など、業務は概ね順調に進捗している。しかし、競争的資金の応募件数、獲得件数ともに減少しており、取組みの一層の強化が必要である。「公募型プロジェクト審査委員会」については、改善の余地がある。

また、研究の外部機関への委託については、資源の効率的利用の分析が必要である。

『 3 研究支援の効率化及び充実・高度化』

研究助手制度の制定、環境問題など国民のニーズの高いテーマも含めて充実したホームページの運営、保守管理の外部委託など効率的な経営に努めており業務は概ね順調に進捗している。

『 4 連携、協力の促進』

国際機関への貢献、国内外研究機関との交流の推進、研究集会の開催やデータベースの整備など、業務は順調に進捗している。

『 5 管理事務業務の効率化』

業務は概ね順調に進捗している。なお、管理事務業務の効率化については、各種システムの早急な検討、導入が必要である。

『 6 職員の資質向上』

国内外留学制度の設置など、業務は順調に進捗している。

国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価ランク A

評価に至った理由及び所見

研究テーマは国民の関心の高いものが多く、昨年度に比べ成果もあがっており業務は順調に進捗している。なお、国民に対して提供するサービスという観点からは、研究成果について、行政及び国民のニーズにどう役立ったかを評価し提供する等広報体制の強化に更に一層取組み、その貢献度を対外的により強くアピールしていく必要がある。

項目ごとの所見は以下のとおりである。

『 1 試験及び研究並びに調査』

「 - 1 - A 農業生態系の持つ自然循環機能に基づいた食料と環境の安全性の確保」については、業務は順調に進捗している。「 - 1 - A - 1 環境負荷物質の動態解明と制御技術の開発」で、農作物のカドミウム汚染リスクを予測するため

の知見を得るなど、昨年度に比べ多数の顕著な成果が上がっていることは評価できる。国民の関心の高い問題であり、一層の研究の充実を図る必要がある。

「 - 1 - B 地球規模での環境変化と農業生態系との相互作用の解明」については、業務は順調に進捗している。「 - 1 - B - 2 農業が地球環境に及ぼす影響解明と対策技術の開発」で、間断灌漑が水田のメタンガス発生量削減技術として有効であるとともに、亜酸化窒素の発生を促進する可能性は小さいことを明らかにした実績は評価できる。長期的視点が大切な分野であり、着実な研究の進展が必要である。

「 - 1 - C 生態学・環境科学研究に係る基礎的・基盤的研究」については、業務が順調に進捗している。農業分野におけるダイオキシン、内分泌かく乱物質では国内随一の研究機関である。国民の関心の高い研究が多く、応用範囲も広い。インベントリセンターの財産は貴重であり、また、応用分野との連携を図りながら、環境分野における基礎的研究を充実させる必要がある。

『 2 専門研究分野を活かした社会貢献』

OECD等の国際機関の専門家会合への積極的な職員派遣を行うなど、業務は順調に進捗している。なお、国際的な基準作成に貢献するため、データの精度管理に取り組む必要がある。

『 3 成果の公表、普及の促進』

水稻のカドミウム吸収抑制マニュアルをホームページで公開するなど、業務は概ね順調に進捗している。なお、研究成果は行政及び国民にどう役立つかという視点で取りまとめ提供する等広報体制の強化を更に一層力を入れて取り組む必要がある。特許の出願については、研究成果から判断して、さらに件数を増やすことが可能である。

予算（人件費の見積りを含む。） 収支計画及び資金計画

評価ランク A

評価に至った理由及び所見

業務は概ね順調に進捗している。なお、管理事務業務の効率化、管理経費節減の一層の取組が必要である。また、業務の効率化の取組の会計数字への反映の努力が必要である。

受託研究や競争的資金の獲得など一定の成果をあげており、努力は評価するものの、なお自己収入増加については予算未達となっており、前年度との比較等の説明が不十分である。

その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項

評価ランク A

評価に至った理由及び所見

業務は順調に進捗している。環境研究の中には長い期間を要する研究課題もあるので、それらに配慮した研究所運営が望まれる。

項目ごとの所見は以下のとおりである。

『 1 施設及び設備に関する計画』

業務は順調に進捗している。なお、農業環境インベントリセンター及び環境化学分

析センターと他の研究部との有機的連携を示す施設等の設置趣旨を説明に加えた方が  
良い。

『2 人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。）』  
ポスト・ドクターの受け入れなど、業務は順調に進捗している。

（参考）本評価において用いた評価ランクは以下の3段階である。

- A：計画に対して業務が順調に進捗している
- B：計画に対して業務の進捗がやや遅れている
- C：計画に対して業務の進捗が遅れている